

### 3-7. 町単位老人クラブ補助事業

#### 3-7-1. 事務事業評価シート

### 事務事業評価シート

H 27 年度

事務事業名	町単位老人クラブ補助事業			総合計画 個別施策 コード/名	2222	生きがいづくりの推進
新規・継続	継続	事業開始年度	不明	担当課	社会福祉課	
根拠法令等	あり	老人福祉法、阿見町シルバークラブ補助金交付要綱				

#### 1. 事業の概要

##### 【事業内容】

老人福祉に関する諸事業(社会奉仕作業・老人教養講座・健康増進事業)を行う際の経済的サポートとして対象単位シルバークラブに対して、年一回補助金を交付する。平成20年度より、新たに「単位シルバークラブ補助金交付要項」を制定し、利用しやすい補助制度として基準を改定した(会員数20名以上29名以下は30,000円、会員数30名以上49名以下は年額48,000円、会員数50名以上は年額60,000円)。

##### 【成果目的】

シルバークラブを通じて、高齢者が地域社会に積極的に参加し、健康で生きがいのある生活が送れるよう支援する。心身ともに健康な高齢者が増え、その結果、介護予防へもつながる。

#### 2. 活動指標と成果指標

指標名	単位	説明	H25	H26	H27	H28	
			目標 実績	目標 実績	目標	目標	
活動指標	申請単位老人クラブ数	クラブ	補助金申請を行った単位老人クラブ数	37	37	37	37
				34	36		
成果指標	補助金対象単位老人クラブ数	クラブ	申請を行い補助金を受けた単位老人クラブ数	37	37	37	37
				34	36		

#### 3. 事業費の内訳とコスト分析

##### (1) 歳出内訳

H25年度(決算)	H26年度(決算)	H27年度(予算)
1,800,000	1,806,000	1,974,000

##### (2) 歳入

H25年度(決算)	H26年度(決算)	H27年度(予算)
0	0	0

歳入内容:

【種別】	【金額】	【内容】
補助金	1,806,000	町単位シルバークラブ補助金

##### (3) 人件費(時間)

	H25年度		H26年度	
	時間数	人件費概算	時間数	人件費概算
正職員(時間内)	98	171,861	14	24,514
正職員(時間外)		0	1	2,189
臨時職員		0		0
その他				
合計	98	171,861	15	26,703

##### (4) 町民1人当たりコスト (事業費+人件費-歳入)

	H25年度(決算)	H26年度(決算)
事業費	1,800,000	1,806,000
人件費	171,861	26,703
小計	1,971,861	1,832,703
歳入	0	0
計	1,971,861	1,832,703
町民1人当たり	約 41円	約 38円

#### 4. 事業の方向性と取組方針

##### ▼担当者記入

2~3の考察と課題、改善計画
退職後も元気な団塊の世代の高齢者が、地域コミュニティの場に参加し、地域間交流を深めたいとの要望が増加傾向であることまた交流を深めることに地域の活性化につながると思われるため今後も継続的に事業を行っていくことが必要。また併せて広報等により支援が必要

##### ▼課長記入

【方向性・業務改善】	理由
将来的な方向性	シルバークラブは高齢者の生きがい、交流、居場所づくりに大変有効な事業であり、今後高齢者が増えてく中で更に拡大し、全行政区設置を目指す。
拡大して継続	
業務改善	シルバークラブの全行政区への設置活動及び補助制度を見直す。
一部改善	

【取組方針】 ※いつまでに、どんな状態にするか。そのために今年度は何をするか。
区長へのシルバークラブの設置を説明していくとともに、補助金について検討し、来年度予算へ反映させていく。

### 3-7-2. 委員会における評価と指摘事項

※分数は全委員のうち妥当であると評価した委員の数を示す

※「○」は「妥当である」、「×」は「妥当でない」を示す

委員会としての評価		補足
目的に対する手段	6/6 → ○	
活動指標	1/6 → ×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加入率にすべき。</li> <li>・目標の設定の仕方を改善すべき。</li> <li>・目標は全行政区のはず。</li> </ul>
成果指標	1/6 → ×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目的(介護予防)を踏まえた指標にすべき。</li> <li>・行政区から会員数に改善すべき。</li> <li>・加入者数の増加を含むべき。</li> </ul>
方向性	6/6 → ○	
業務改善	5/6 → ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの実施なども含めると良い。</li> </ul>
取組方針 (改善方針)	6/6 → ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単位クラブの問題点を抽出し、課題解決するための支援策を講じる。</li> <li>・各シルバークラブの問題点の抽出と解決するための取り組みをして欲しい。</li> </ul>

#### ヒアリングにおける主な指摘事項

- ・活動指標と成果指標が同じで良いのか。
- ・全行政区の設置を目指すがあるが、66行政区のうち現状で37行政区しか設置されていない。成果指標に記載すべき。
- ・会員数は現在およそ1,500人だが、会員数は目標に設定しないのか。
- ・66行政区すべてを目標とすべきで、加入率も目標にすべき。現在の加入率は10%にすぎない。
- ・全行政区を目指すとしているのだから、指標も整合が取れてないといけない。
- ・行政区単位と記載されているが、行政区をまたがる場合も認める考えがあるということなので、方向性に記載して欲しい。事務事業評価シートでは担当課としてどうしていきたいかを書いてもらえば良い。町としてとか、町議会に諮るとか、区長会の理解というのものもあるかもしれないが、それは別。主管課が方向性を持たないと進まない。
- ・地区の実態としては、ボランティアは増えてもシルバークラブの会員は増えていかない。行政区単位で作りにくい地区は、行政区をまたがるとか、少しでも加入率を増やしていくような取り組みが書かれていても良かった。加入率が10%、半分くらいの行政区がシルバークラブを作っていないということは、何かしら問題があるのだろう。
- ・総合計画に書いてある目標があったとしても、それを超える目標を事務事業評価で記載してかまわない。総合計画は最低目標として捉えれば良い。
- ・過去の実績を見ても、クラブ数はそれほど増えていない。町側の規則の問題なのか、各地区での問題点なのか。入りたくない理由や、表面に出ない問題もあるかもしれない。連合会の方からも動いていただくことも一つ。
- ・地区では、補助金の基準があるから何とか人数を50人集めているところもある。
- ・成果目的には介護予防につながると書いてある。業務の結果、シルバークラブが活性化されたかが成果指標。
- ・他の事業でも、災害時の見守りとか、民生委員の業務とか、いろいろな地域の活動はある。シルバークラブも自助共助の組織体にもなると思う。人から必要とされて生きがいになるようなクラブになって欲しい。
- ・シルバークラブの中でも、ごみ拾いや立哨活動などを行ったりして、それに対して補助金を出すという検討もしていただきたい。地区の方で人数を集めることに手一杯とならないように。
- ・補助金の基準について、人数に対しての補助が良いのか、事業の内容に対しての補助が良いのか工夫の余地がある。
- ・もし今の制度に問題があれば、それを見直すことは必要。
- ・連合会とか区長会と一緒に知恵を出し合いながら工夫できると思う。
- ・地域の人にとって、シルバークラブのおかげで助かっているというのがやりがいになると思う。

#### ヒアリングシート自由記載

- ・新しい取り組みを期待しています。
- ・補助金の使われ方をより詳細にチェックする。

3-7-3. 担当課による対応方針

平成27年度 外部評価結果に対する対応方針

事業名	町単位老人クラブ補助事業	担当課	保健福祉部社会福祉課
-----	--------------	-----	------------

1. 目的に対する手段

目的に対する手段	外部評価結果	<b>妥当である</b>	事業内容の見直し:	<b>無し</b>
	担当課の考え方	評価において事業内容は妥当であるとの判断を得たため現行事業を継続します。		

2. 指標

活動指標	外部評価結果	<b>妥当でない</b>	活動指標の見直し:	<b>数値変更</b>	※有りの場合は翌年度の事務事業評価に反映			
	現行	単位老人クラブ数	クラブ	単位老人クラブ数	H25	H26	H27	H28
					37	37	37	37
	来年度	単位老人クラブ数	クラブ	単位老人クラブ数	H25	H26	H27	H28
				37	37	37	40	
担当課の考え方	活動指標については妥当ではないとの判断だった為、数値目標を見直し。従前の数値目標は阿見町第6次総合計画の目標数値を参考にしていましたが、第6次総合計画、阿見町長寿福祉計画での最終目標としては全行政区での単位クラブ活動を目指しているため段階的に目標数を増やしていく。							

成果指標	外部評価結果	<b>妥当でない</b>	成果指標の見直し:	<b>有り</b>	※有りの場合は翌年度の事務事業評価に反映			
	現行	補助金対象単位老人クラブ数	クラブ	申請を行い補助金を受けた単位老人クラブ数	H25	H26	H27	H28
					37	37	37	37
	来年度	単位老人クラブ加入人数	人数	単位老人クラブに加入している人数	H25	H26	H27	H28
							1,683	
担当課の考え方	従前は成果指標を補助金対象単位老人クラブ数にしていた為、活動指標と成果指標が同一になっており、妥当ではないとの評価を得たため成果指標を変更。目的でもある高齢者の健康寿命を延ばし、介護状態になることを予防するという指標にするため、クラブに加入している方を自立して活動をしていると想定し、30人のクラブが5つ増加の150人増加を目指します。							

3. 事業の方向性

方向性	外部評価結果	妥当である	現行の方向性	拡大して継続	方向性の見直し (見直し後の方向性)	無し
	担当課の考え方	今後ますます高齢者が増加し、全町民に対して65歳以上の住民の割合が増加していくので、地域コミュニティとしての単位老人クラブ(シルバークラブ)が果たす役割が重要になっていくと思われます。シルバークラブが個人の生きがい活動の推進だけでなく高齢化が進んだ地域社会での住民による協力体制の構築につながるよう取り組みます。				
業務改善	外部評価結果	妥当である	現行の業務改善	一部改善	業務改善の見直し (見直し後の業務改善)	無し
	担当課の考え方	区長をはじめとする地域コミュニティ関係者やシルバークラブ関係者と行政の連携のもと、会員の増強とクラブ数の増加に取り組むと共に、補助金制度も人数から活動内容を基礎とした制度への変更を検討していく。				

4. 取組方針

取組方針 (改善方針)	外部評価結果	妥当である	取組方針の見直し	有り
	現行の取組方針	区長へのシルバークラブの設置を説明していくとともに、補助金について検討し、来年度予算へ反映させていく。		
			【評価結果を踏まえた今後の取組方針】	従前の区長へのシルバークラブ設置の説明に加えて、行政区単位についての設置基準を見直すなどクラブ設立の基準の緩和を検討し、より多くのクラブ設立を促し、またクラブ運営の補助金についても更に活発になるよう当面は、現在の制度での増額を図っていくが、事業活動による補助金とするよう制度の改変を図っていく。